

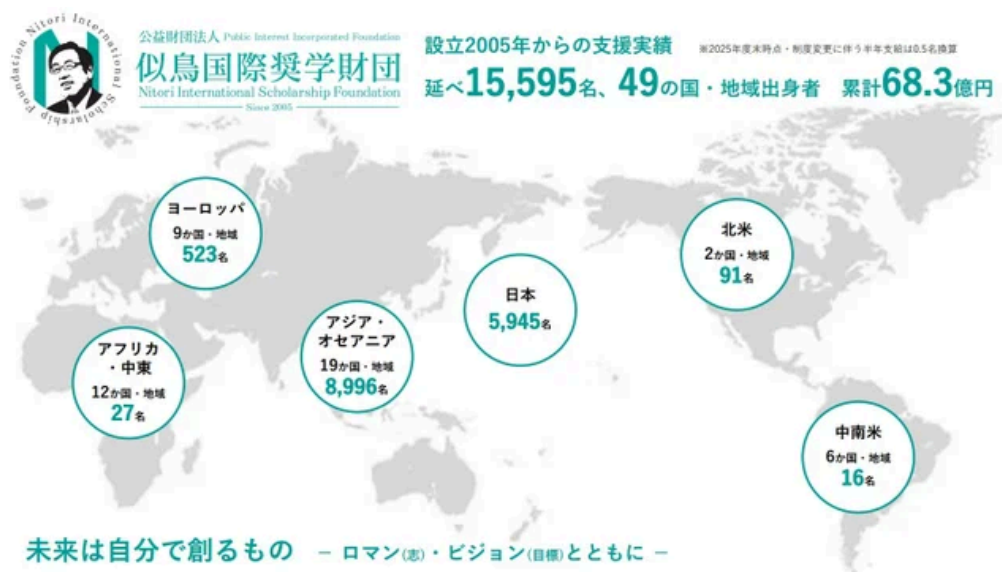
公益財団法人似鳥国際奨学財団「学びを支え、成長に寄り添う奨学支援デザイン」が2026年度グッドデザイン賞を受賞

～ニトリグループは、公益財団法人似鳥国際奨学財団の活動を応援しています～

株式会社ニトリホールディングス代表取締役会長兼 CEOの似鳥昭雄が代表理事を務める、公益財団法人似鳥国際奨学財団が、「学びを支え、成長に寄り添う奨学支援デザイン」として評価され、2026年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞いたしました。

本取り組みは、返済不要の給付型奨学金を通じて、学びへの意欲を出発点に、人の成長と社会との関わりを支える仕組みとして形づくってまいりました。一時的な経済的支援にとどまらず、学びの過程に伴走しながら、定期的な交流会や学習の振り返りレポートを通じた対話の機会を継続的に設けることで、それぞれの学びが次の行動や社会との関わりへとつながる循環を生み出してきました。

2005年の設立以来、国内・海外現地で支援を続け、2025年度末までに49の国・地域出身者、延べ15,595名を支援してまいりました。こうした20年間の取り組みが評価され、このたびの受賞につながりました。



■受賞対象概要

■受賞対象

公益財団法人似鳥国際奨学財団 ～学びを支え、成長に寄り添う奨学支援デザイン～

■奨学支援デザインのポイント

- ・返済不要の給付型奨学金を通じ、立場や背景を問わず学ぶ意欲と向き合う制度設計
- ・学びの過程に寄り添い、人の成長を支え続ける仕組み
- ・定期的な交流・対話を通じて人と人とのつながりが生まれ、次の世代や社会へ広がるデザイン

■グッドデザイン賞 審査委員の評価コメント

学びをハブとして、国内外の学生に様々なサポートを行うユニークな視点を評価した。2005年から本年にいたるまで20年以上にも渡って、一貫した姿勢で多くの学生をサポートしているのは、企業理念のブレがない証である。また、学生寮運営による住居支援、被災者等支援事業としてウクライナ避難民への生活費支援にも取り組み、クオリティを落とさず磨き上げ続けている点も素晴らしい

■似鳥国際奨学財団代表理事 似鳥昭雄のコメント

このたび、当財団の取り組みがグッドデザイン賞という形で評価されたことを大変光栄に思います。私たちはこの取り組みを単なる経済的支援ではなく、人と人、世代と世代、地域と社会をつなぐ仕組みであると考えています。一人の学生への支援が、その後の成長や活躍を通じて次の世代へと受け継がれ、社会に新たな価値を生み出していく。そのような学びと支援の循環をご評価いただけたことを大変うれしく思います。今回の受賞を励みとして、今後も支援を必要とする方々に寄り添いながら、学びを通じて人と社会の可能性が広がる未来の実現に努めてまいります。

■グッドデザイン賞とは



**GOOD
DESIGN
AWARD
2026**

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001724.000073913.html>

株式会社ニトリホールディングスのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/73913

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ニトリホールディングス 広報部 大阪

電話：03-6741-1213 Mail：koho@nitori.jp